

【OIE 情報】台湾における狂犬病の発生について

平成 25 年 9 月 17 日
動物衛生課

台湾における狂犬病の発生について、OIEへ追加報告がありましたのでお知らせいたします。本報告は2013年7月17日付けの発生報告の続報(続報30～続報31の計2報告)です。

なお、本年7月16日付けの台湾政府による狂犬病確定診断の公表を受け、農林水産省は7月17日より台湾を狂犬病の非清浄地域として取り扱っており、7月25日付けで指定地域(農林水産大臣が認めている狂犬病の清浄国・地域)から削除しました。

出典: OIEウェブサイト

1. 続報30(2013年9月12日付け)

http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=14081

2. 続報31(2013年9月13日付け)

http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=14084

(OIE情報は更新・差替えが行われる場合がありますので、出典元も併せて御確認下さい。)

【概要】

- ・発生数: 6件 (続報 30～続報 31)
- ・発生日: 2013 年9月8日～9月 10 日
- ・OIE への報告日: 2013 年9月 12 日～9月 13 日
- ・臨床所見あり(続報 30)、臨床所見なし(続報 31)

【発生状況】

・発生場所

9月8日: 台東県 関山鎮(続報 30)、台中市 北屯区(続報 31)

9月9日: 南投県 水里郷、南投県 鹿谷郷(2件)(続報 30)

9月10日: 南投県 国姓郷(続報 31)

・発生6件の合計(全てイタチアナグマ1頭での発生)

【動物種】	【飼育頭数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
イタチアナグマ*		6	6	0	0

* : 中国イタチアナグマ(原文: Chinese Ferret-badger: *Melogale moschata* (Mustelidae))

【疫学情報】

- ・感染源: 不明又は調査中
- ・感染したイタチアナグマが回収された地域において、犬猫に対する強化ワクチン接種対応が継続され、モニタリングが実施されているところ。

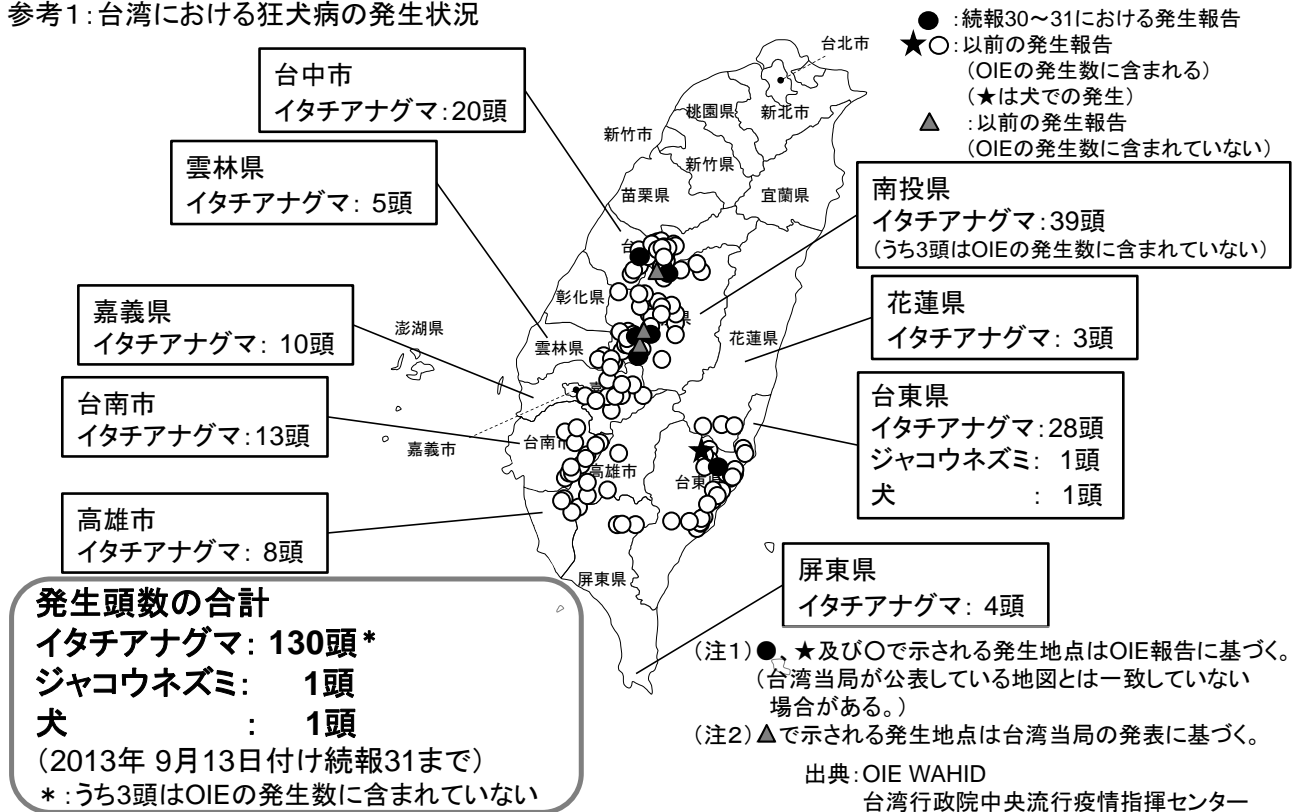
【対応】

- ・隔離
- ・スクリーニング
- ・発生に応じたワクチン接種実施
- ・患畜を治療対象としない

【診断】

- ・直接蛍光抗体検査(FAT): 陽性(2013年9月11日～9月12日、家畜衛生試験所(国立研究所))

参考1:台湾における狂犬病の発生状況



参考2:台湾行政院農業委員会家畜衛生試験所公表資料 (2013年8月16日付け)

「2013年の台湾の狂犬病ウイルスの遺伝子配列分析」

<http://www.nvri.gov.tw/Module/NewsContent/NewsFile/900/861.pdf>

※本情報は、台湾行政院家畜衛生試験所が、8月16日に公表した情報について、機械翻訳等に基づき仮抄訳したものですので、正確さを求める場合には出典元のリンクも併せて御確認下さい。

(1)台湾のイタチアナグマから分離されたウイルス株の糖たん白質遺伝子についての分析結果

【塩基配列】

- 台湾の分離株間の同源性: 91.0~99.9%
- 中国大陸のイタチアナグマからの分離株との同源性: 84.4~88.5%
- フィリピンの犬からの分離株との同源性: 87.0~88.6%

【塩基配列から推定されるアミノ酸配列】

- 台湾の分離株間の同源性: 93.1~100%
- 中国大陸のイタチアナグマからの分離株との同源性: 90.1~92.4%
- フィリピンの人及び犬からの分離株との同源性: 92.2~93.1%

(2)台湾のイタチアナグマから分離されたウイルス株の核たん白質遺伝子についての分析結果

【塩基配列】

- 台湾の分離株間の同源性: 91.9~100%
- 中国大陸のイタチアナグマからの分離株との同源性: 87.6~90.0%
- フィリピンの人及び犬からの分離株との同源性: 87.8~89.4%

【塩基配列から推定されるアミノ酸配列】

- 台湾の分離株間の同源性: 97.6~99.8%
- 中国大陸のイタチアナグマからの分離株との同源性: 96.7~98.0%
- フィリピンの犬からの分離株との同源性: 96.7~98.7%

(3)台湾のイタチアナグマから分離されたウイルス株の基質たん白質遺伝子についての分析結果

【塩基配列】

- ・台湾の分離株間の相同性：92.9～100%
- ・中国大陸のイタチアナグマからの分離株との相同性：86.5～91.3%
- ・フィリピンの分離株との相同性：関連する配列がないため未分析

【塩基配列から推定されるアミノ酸配列】

- ・台湾の分離株間の相同性：95.1～99.5%
- ・中国大陸のイタチアナグマからの分離株との相同性：92.1～97.0%
- ・フィリピンの分離株との相同性：関連する配列がないため未分析

これまでに台湾で分離されている狂犬病ウイルスの遺伝子配列を分析した結果、地域により3つの群に分けることが可能。また、台湾、中国（一部）及びフィリピンのイタチアナグマ、犬及び人で分離された狂犬病ウイルスは同一の clonal group に属すること、台湾のイタチアナグマの狂犬病ウイルスは1つの系統（Lineage）に属することが示された。

参考3：これまでの台湾における狂犬病の発生情報は、当省ウェブサイトで公表しています。

水際における狂犬病対策について

URL：<http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/eisei/rabies/index.html>

当省ホームページからの閲覧方法は下記参照。

農林水産省ホームページ (<http://www.maff.go.jp/index.html>)

＞ 組織・政策

＞ 消費・安全

＞ 家畜の病気を防ぐために（家畜衛生及び家畜の感染症について）

＞ 水際における狂犬病対策について

「犬等の輸出入検疫制度の一部改正について」の

「台湾での発生情報等（OIEに報告された情報・台湾当局プレスリリース）」

The screenshot shows the MAFF website interface. At the top, there is a search bar and a language selector. Below that is a navigation menu with categories like '農林水産省について', '組織・政策', '報道・広報', and '統計情報'. The main content area is titled '水際における狂犬病対策について'. It contains a paragraph explaining that rabies is a zoonotic disease and that Japan has implemented strict control measures for the import and export of dogs and other animals. Below this, there is a section for '台湾での発生情報等 (OIEに報告された情報・台湾当局プレスリリース)' (Information on Rabies Incidents in Taiwan (Information Reported to OIE and Taiwan Press Releases)). This section lists several news items with dates and links to the full reports.